

第2回策定委員会での主な意見とその対応等について

日 時：令和6年10月28日（月） 10：00～12：00

場 所：福井県庁 2F 中会議室

出席者：浅利委員、岩前委員、菊池委員、羽場委員、松永委員、桃井委員（五十音順）

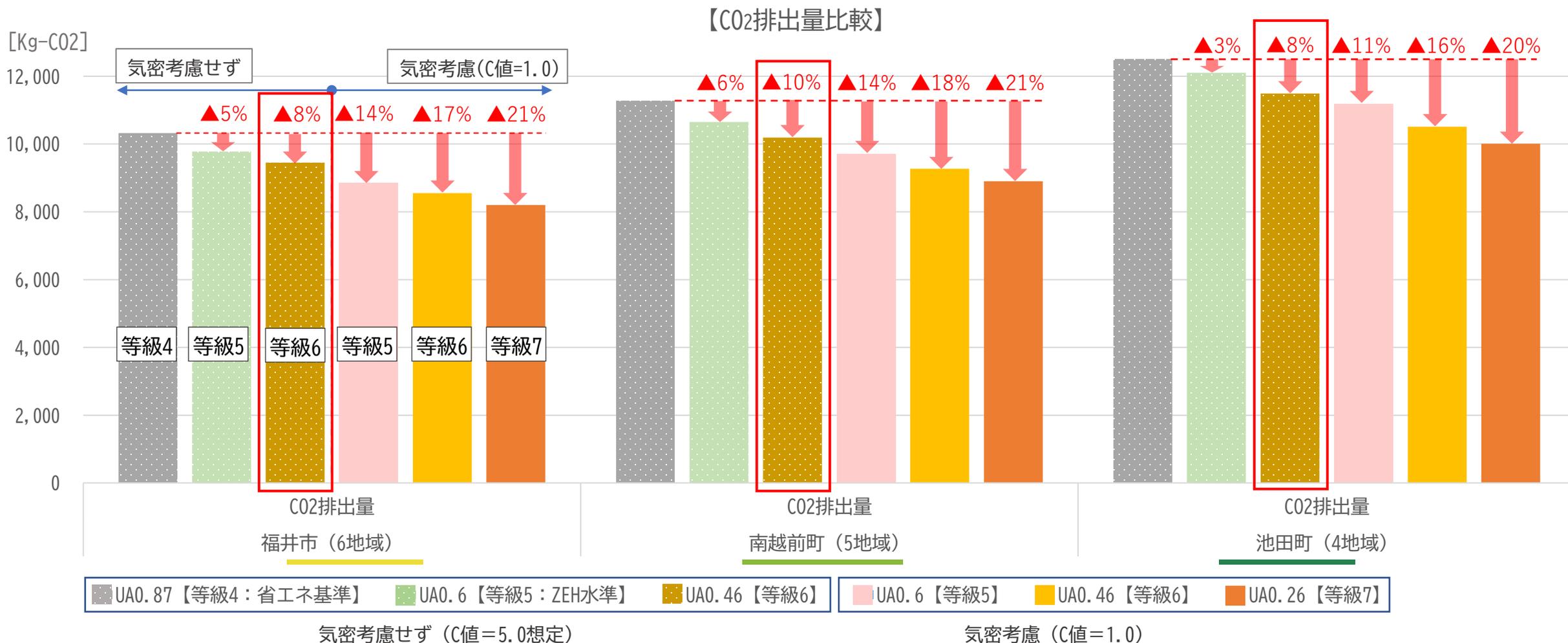
議 事：省エネ住宅シミュレーションの結果について  
 新築住宅の省エネ性能水準の素案について  
 既存住宅の省エネ改修性能水準の素案について  
 独自基準および省エネ改修普及のための施策案について

主な意見	対応等
<p>『CO2 排出量の比較について』（第2回委員会_資料2）</p> <p>○県が推奨する基準を仮に断熱等級6とするならば、<u>等級6で気密考慮する、しないの比較データを見せた方がよいのでは。</u></p>	<p>▶ 等級6で気密考慮しないデータを追加                      （資料1 別紙）</p>
<p>『省エネ住宅シミュレーションのデータについて』</p> <p>○大変貴重なデータであるので、<u>委員会資料に掲載していないデータについても情報提供してもらえるとい</u><u>い。</u></p>	<p>▶ データ量が多いので、どのような形で他のデータを公開するか、検討する。</p>
<p>『消費者（県民）への情報発信について』</p> <p>○県独自の省エネ基準を策定したら、事業者向けだけでなく、<u>消費者に対してしっかり説明し、理解してもらう必要がある</u>と思うので、<u>消費者に対しても情報発信に力を注ぐべき。</u></p>	<p>▶ 今年度、基準の策定にあわせて、<u>独自基準住宅のメリット等を紹介するチラシを作成し、公開に向け準備している。</u>                      （議事(4) 資料5にて説明）</p> <p>▶ 令和7年度以降は、チラシとは別に、<u>消費者に県独自基準住宅により興味を持って、理解してもらえるよう、動画やSNSなどを通して、独自基準住宅ついて広報していく予定。</u>                      （議事(4) 資料4にて説明）</p>

主な意見	対応等																																
<p>『住宅の新築着工戸数および既存ストックについて』</p> <p>○<u>新築の着工数、既存住宅のストック数、既存ストックの断熱性能の割合の情報があると、既存住宅の改修も大事だということがわかってもらえるのではないか。</u></p>	<p>▶ 住宅ストック（全国推計）の内、約 82%が等級4に満たない（等級5に満たない住宅は約 95%）と推計されているので、既存住宅の省エネ改修についてもしっかりと普及啓発していく。</p>																																
<p>&lt;参考データ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福井県内の一戸建て住宅新設着工数の推移【建築着工統計調査より】 令和5年度：2,319戸 令和4年度：2,718戸 令和3年度：2,981戸</li> <li>●福井県内の一戸建て住宅のストック数【令和5年度住宅・土地統計調査より】 204,800戸</li> <li>●住宅ストックの断熱性能割合（全国推計値）</li> </ul> <p><b>【住宅ストックの断熱性能(2022年)】</b></p> <table border="1"> <caption>住宅ストックの断熱性能(2022年)の割合</caption> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>基準</th> <th>戸数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>等級1(無断熱等)</td> <td>S55基準未済</td> <td>1,318万戸</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>等級2</td> <td>S55基準相当</td> <td>1,916万戸</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>等級3</td> <td>H4基準相当</td> <td>1,212万戸</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>等級4</td> <td>H28基準相当</td> <td>701万戸</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>等級5</td> <td>ZEH基準</td> <td>215万戸</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ZEH水準を上回る水準</td> <td>28万戸</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td><b>合計</b></td> <td><b>ストック総数</b></td> <td><b>約5,400万戸</b></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 人が居住する住宅ストック</p> <p>等級4に満たないストック 約4,400万戸(約82%)</p> <p><b>ZEH水準に満たないストック 約5,100万戸(約95%)</b></p> <p>「第9回 GX 実現に向けた専門家ワーキンググループ資料」 (内閣官房ホームページ) (<a href="https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gx_jikkou_kaiji/senmonka_wg/index.html">https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gx_jikkou_kaiji/senmonka_wg/index.html</a>) を加工して作成</p>		等級	基準	戸数	割合	等級1(無断熱等)	S55基準未済	1,318万戸	24.4%	等級2	S55基準相当	1,916万戸	35.5%	等級3	H4基準相当	1,212万戸	22.4%	等級4	H28基準相当	701万戸	13.0%	等級5	ZEH基準	215万戸	4.0%	その他	ZEH水準を上回る水準	28万戸	0.5%	<b>合計</b>	<b>ストック総数</b>	<b>約5,400万戸</b>	
等級	基準	戸数	割合																														
等級1(無断熱等)	S55基準未済	1,318万戸	24.4%																														
等級2	S55基準相当	1,916万戸	35.5%																														
等級3	H4基準相当	1,212万戸	22.4%																														
等級4	H28基準相当	701万戸	13.0%																														
等級5	ZEH基準	215万戸	4.0%																														
その他	ZEH水準を上回る水準	28万戸	0.5%																														
<b>合計</b>	<b>ストック総数</b>	<b>約5,400万戸</b>																															
<p>『事業者認証制度について』</p> <p>○認証の要件として、福井県独自でテストをするなど、客観的な何かしらハードルを設けて、認証とすると県民の方々の信頼も得られると思う。</p>	<p>▶ 議事(3)にて説明</p>																																

## その1 〈ゼロカーボン〉 CO2排出量の比較

断熱性能向上と気密性能の確保により、CO2排出量削減の効果がでている



※住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム[(一財)住宅・建築SDGs推進センター]による算出

※池田町(4地域)のみ一部断熱等性能等級の区分が異なる